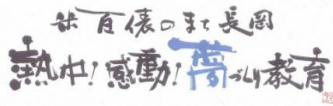


令和7年11月12日

報道機関各位

長岡市立希望が丘小学校長



総合創作劇で命の尊さを伝える 希望が丘小が「一人・ひとりの長岡空襲2025」を上演

希望が丘小学校の6年生「ひまわり学年」は、総合的な学習の時間に長岡空襲をテーマに平和学習に取り組んでいます。これまで、長岡空襲を体験された方から話を聞いたり、校外学習で空襲に関連する史跡や施設を見学するなど、当時の悲惨な様子や生活の困難さ、命の大切さを学びました。

このたび、学習の集大成として、命の尊さを多くの方へ伝える総合創作劇を上演します。長岡空襲・戦後80年となる節目の年に、戦争の記憶を風化させず継承するとともに、平和の尊さを後世に伝えていきます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

総合創作劇「一人・ひとりの長岡空襲2025」 ～命の声を紡ぎ 残そう平和の種～

- 1 日 時 11月27日(木) 午後3時～4時30分(開場:午後2時30分)
- 2 場 所 長岡リリックホール シアター(長岡市千秋3丁目1356番地6)
- 3 内 容 長岡空襲の体験談を基に児童が制作した創作劇
- 4 参加者 6年生全児童 63人、地域の方・保護者 約250人
- 5 その他
 - ・詳細については、別紙チラシをご覧ください。
 - ・取材いただける場合は、座席を準備しますので、当日正午までに下記担当へご連絡をお願いします。
 - ・同日午後5時(劇終演後)から、信濃川河川敷で鎮魂と平和の花火「白菊」(10号2発)を打ち上げます。



▲昨年の様子

(問い合わせ: 長岡市立希望が丘小学校 教頭 酒井 Tel: 0258-28-0800)

一人ひとりの 長岡空襲 2025

命の声を紡ぎ
残そう平和の種

総合創作劇

長岡戦災資料館 顧問
古田島吉輝さん
「長岡空襲」の特別授業

遠藤好子さん
「長岡空襲」談

長岡戦災資料館館長
近藤信行さん
長岡空襲関連資料の説明

書・篆刻作家 柳澤魁秀さん
巨大書制作指導

リリック ジュニアミュージカル
長岡講師 小杉佐智子さん
による演劇指導

青年会議所の方からの
特別授業

長岡戦災資料館 アドバイザー
星貴さんからの特別授業

君と君の大切な人が
幸せであるそのために
祈りながら sing a song

一晩にして長岡の町が焼け野原となった80年前の8月1日。1,489名もの尊い命が失われました。希望が丘小学校6年生ひまわり学年は総合的な学習の時間に戦争の歴史や長岡空襲を学び、戦争を体験された方々から当時の様子や思いをお聞きました。さらに、戦争に関する施設や史跡を巡り、学びを深めてきました。

この学習の集大成として、希望が丘小学校の6年生が総合創作劇の中でより多くの
人々に自分たちの学びや思いを伝えます。



出演 長岡市立希望が丘小学校6年生 ひまわり学年63名

令和7年

11/27 (木)

長岡リリックホール シアター
開場 / 14:30 開演 / 15:00

入場
無料

劇の終了後「白菊」を打ち上げます。(17:00頃)

「来場しついで」

ご来場して鑑賞を希望される方は、QRコードを読み取って、申込みを行ってください。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

申込期間 ▶ 11/3月~21金

